

野洲市の子ども・子育て支援に関する アンケート調査 ご協力をお願い

日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

野洲市では、2024年度に、市の子育て支援の方向性を定める「第3期子ども・子育て支援事業計画」(仮称)を策定します(計画期間:2025年度~2029年度)。

そこで、市民の皆様は、教育・保育サービスの利用意向や子育て支援に関するご意見などをお聞かせいただきたく、アンケート調査を実施することに致しました。

本調査は、就学前のお子さんがいらっしゃる世帯に実施するもので、世帯主様にお送りしておりますが、ご回答につきましては、できる限りお子さんの保護者の方がご記入くださるようお願いいたします。なお、調査結果は、統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありません。

子育て支援に取り組むための重要な調査ですので、何卒ご協力をお願い申し上げます。

2023年●月

野洲市

ご記入にあたってのお願い

1. アンケートは、できる限りお子さんの保護者の方がご記入ください。保護者以外の方が記入する際は、保護者と相談してご記入いただきますよう、ご協力をお願いします。
2. この調査は無記名です。(調査票にお名前を書いていただく必要はありません。)
3. 調査票への回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。また、「その他」の場合は()内に具体的な内容をご記入ください。
4. 数字で時間(時刻)を記入する場合は、24時間制(例:午後6時→18時)でご記入ください。
5. 設問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、「ことわり書き」や「矢印」に従ってご回答ください。特に「ことわり書き」などが無い場合は次の設問にお進みください。
6. 調査票はご記入後、そのまま返信用の封筒に入れ、無記名で市役所こども課までご返送ください。なお、切手は不要です。
7. WEBから回答いただくこともできます。右の二次元コードを読み取り、ご回答ください。この場合は、調査票の返送は不要です。

二次元コード

提出期限:●月●日(●)まで

◎本調査への質問または不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

野洲市健康福祉部こども課 電話:077-587-6052

担当者:村上

本調査から計画策定までのイメージ

アンケート調査（本調査）

調査項目

①保護者の皆様の子育ての現状

②公共サービスの利用状況

③ニーズと市に求める対応

第2期子ども・子育て支援事業計画等の評価

満たされたもの

満たされていないもの

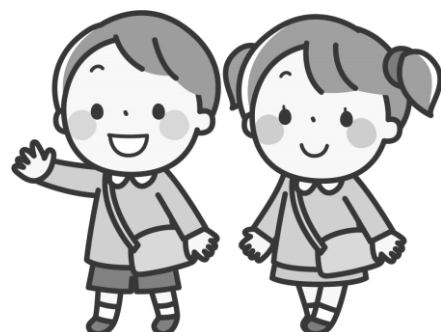
野洲市子育て支援会議

第3期野洲市子ども・子育て支援事業計画

1. お子さんご家族の状況について

問1 封筒のあて名のお子さんご家族等の状況をお答え下さい。

(1)お子さんの生年月	※数字でご記入ください。数字は一枠に一字 西暦 年 月生まれ
(2)あて名のお子さんを含めた お子さんの人数(1つに○)	1. 1人 3. 3人 5. 5人 2. 2人 4. 4人 6. 6人以上
(3)末子の生年月 ※2人以上のお子さんが いらっしゃる場合	※数字でご記入ください。数字は一枠に一字 西暦 年 月生まれ
(4)この調査票にご回答 いただく方(1つに○)	※あて名のお子さんからみた関係でお答えください。 1. 母親 2. 父親 3. その他()
(5)あて名のお子さんの保護者 (1つに○)	1. 両親 2. 父親のみ 3. 母親のみ 4. その他()
(6)お子さんの子育て(教育を 含む)を主にしている方 (1つに○)	※あて名のお子さんからみた関係でお答えください。 1. 父母ともに 4. 主に祖父母 2. 主に母親 5. その他() 3. 主に父親
(7)お住まいの小学校区 (1つに○)	1. 野洲 4. 篠原 2. 三上 5. 北野 3. 祇王 6. 中主



2. 保護者の就労状況について

問2 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況についてうかがいます。

用語の説明

※フルタイムとは：1週5日程度・1日8時間程度の就労
(正規雇用や非正規雇用などの雇用の状況や、日中・夜間などの働いている時間帯は問いません。)

問2-1 母親【父子家庭の場合は記載不要】(1つに○)

1. 就労している(フルタイムで、産休・育休・介護休業中ではない)
2. 就労している(フルタイムで、産休・育休・介護休業中)
3. 就労している(フルタイム以外で、産休・育休・介護休業中ではない)
4. 就労している(フルタイム以外で、産休・育休・介護休業中)
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない

問3へ

問4へ

※自営業、家業、家族従事者、内職の場合は、就労状況の実態に応じてフルタイムもしくはフルタイム以外の選択肢に○をつけてください。

問2-2 父親【母子家庭の場合は記載不要】(1つに○)

1. 就労している(フルタイムで、産休・育休・介護休業中ではない)
2. 就労している(フルタイムで、産休・育休・介護休業中)
3. 就労している(フルタイム以外で、産休・育休・介護休業中ではない)
4. 就労している(フルタイム以外で、産休・育休・介護休業中)
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない

問3へ

問4へ

※自営業、家業、家族従事者、内職の場合は、就労状況の実態に応じてフルタイムもしくはフルタイム以外の選択肢に○をつけてください。

問2-1、問2-2で「3.」「4.」(フルタイム以外の就労)に○をつけた方にうかがいます。

問3 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

問3-1 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. フルタイム以外の就労を続けることを希望
4. フルタイム以外の就労をやめて子育てや家事に専念したい

問3-2 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. フルタイム以外の就労を続けることを希望
4. フルタイム以外の就労をやめて子育てや家事に専念したい

問2-1(母親)、問2-2(父親)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問4 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

問4-1 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 将来的に、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム

イ. フルタイム以外

→1週当たり□日 1日当たり□□時間

問4-2 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 将来的に、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム

イ. フルタイム以外

→1週当たり□日 1日当たり□□時間



3. 育児休業制度など職場の両立支援制度について

問5 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかまたは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する□内に数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。

母親	父親
1. 働いていなかった 2. 職場に育児休業制度がない 3. 取得した(取得中である) ⇒取得期間 日 4. 取得していない ⇒ 問5-1へ	1. 働いていなかった 2. 職場に育児休業制度がない 3. 取得した(取得中である) ⇒取得期間 日 4. 取得していない ⇒ 問5-1へ

問5で母親または父親が「4.取得していない」に○をつけた方にうかがいます。

問5-1 育児休業を取得していない理由は何ですか。下記の選択肢の中から選び、
母親、父親それぞれについて回答欄の当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が家事に専念できる、親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

この中から
選び、こちらの
回答欄の
数字に○を
付けてくだ
さい

【回答欄】

母親	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
父親	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15



すべての方にうかがいます。

問 6 子どもを育てることと働くことを両立するために必要なことは、どのようなことだと思いますか。
当てはまる番号に○をつけてください(○は5つまで)

1. 配偶者が家事や育児を分担し、協力すること
2. 配偶者や家族が働くことに同意し、理解すること
3. 「子育ては女性がするもの」という固定的な社会通念を変えること
4. 多様な保育事業を充実すること
5. 子育てしている者に配慮した勤務時間制度などがあり、それが実際に活用できる職場環境
6. 配偶者が子育てに参加できるような勤務時間制度などを実際に活用できる職場環境
7. 出産、育児のため退職した人が職場に復帰できる再雇用制度が事業所に整備されること
8. 育児期間中は自宅で仕事ができるなど、柔軟な働き方の制度が事業所に整備されること
9. 再就職のための職業訓練、就業・起業相談など女性への就業支援
10. 事業所内に保育施設が整備されること
11. 出産と退職を結びつけるような事業所の慣行をなくすこと
12. その他()
13. わからない
14. 子どもを育てることと働くことを両立する必要はない



4. お子さんの平日の幼稚園・保育園などの利用状況について

問7 あて名のお子さんは現在、幼稚園、こども園、保育園などの施設・事業を定期的に利用していますか。(1つに○)

1. 利用している	2. 利用していない	→ 問9へ
-----------	------------	-------

問7で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問8 あて名のお子さんが年間を通じて平日に「定期的に」利用している施設・事業は、以下のどこですか。(当てはまる番号すべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1. 中主幼稚園
2. 野洲幼稚園
3. 祇王幼稚園
4. 北野幼稚園
5. さくらばさまこども園(幼稚園部)
6. さくらばさまこども園(保育園部)
7. ゆきはたこども園(幼稚園部)
8. ゆきはたこども園(保育園部)
9. 三上こども園(幼稚園部)
10. 三上こども園(保育園部)
11. 篠原こども園(幼稚園部)
12. 篠原こども園(保育園部)
13. 野洲第三保育園
14. 祇王明照保育園
15. あやめ保育所 | 16. きたの保育園
17. しみんふくし保育の家竹が丘
18. 認定こども園野洲優愛保育園モンチ
19. TAMランド野洲駅前園
20. サンライズキッズ保育園野洲園
21. しみんふくし保育の家北野
22. 家庭的保育(保育者の家庭等で預かる事業)
23. 事業所内保育施設
(事業所名:)
24. 認可外保育施設
(施設名:)
25. 居宅訪問型の保育(ベビーシッターなど)
(保育提供者:)
26. ファミリー・サポート・センター
27. その他() |
|---|---|

問8-1 問8でご回答いただいた施設・事業について、現在どのくらい利用していますか。また、実際の希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時までか)を、□内に具体的な数字で記入してください。

	1週当たり	1日当たり
①現在	□ □ 日	□ □ 時間(□ □ 時～ □ □ 時)
②希望	□ □ 日	□ □ 時間(□ □ 時～ □ □ 時)

問8-2 現在利用している幼稚園・保育園などの場所について、お答えください。(1つに○)

1. 野洲市内	2. 他の市区町村
---------	-----------

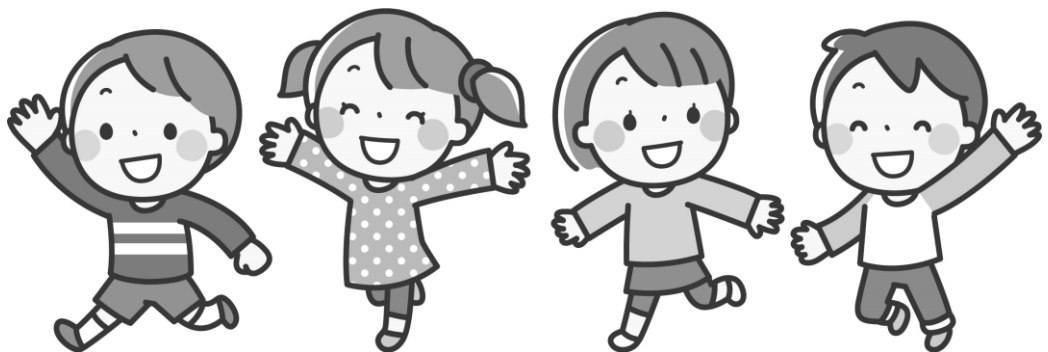
問8-3 平日に定期的に幼稚園・保育園などを利用している理由をお答えください。
(当てはまる番号すべてに○)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている者が現在就労しているため
3. 子育てをしている者が就労予定であるため／求職中であるため
4. 子育てをしている者が家族・親族などを介護しているため
5. 子育てをしている者が病気や障がいがあるため
6. 子育てをしている者が学生であるため
7. その他 ()

問7で「2.利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問9 利用していない理由は何ですか。(当てはまる番号すべてに○)

1. 利用する必要がないため
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみているため
3. 近所の人や父母の友人・知人がみているため
4. 利用したいが、幼稚園、認定こども園、保育園などに空きがないため
5. 利用したいが、経済的な理由で利用できないため
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わないため
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がないため
8. 子どもがまだ小さいため
9. その他 ()



すべての方にうかがいます。

問10 現在利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんについて利用したいと考える施設・事業の番号すべてに○をつけてください。

(問8で回答したものと同じ施設・事業を希望する場合でも、お答えください。)

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 中主幼稚園 | 16. きたの保育園 |
| 2. 野洲幼稚園 | 17. しみんふくし保育の家竹が丘 |
| 3. 祇王幼稚園 | 18. 認定こども園野洲優愛保育園モンチ |
| 4. 北野幼稚園 | 19. TAMランド野洲駅前園 |
| 5. さくらばさまこども園(幼稚園部) | 20. サンライズキッズ保育園野洲園 |
| 6. さくらばさまこども園(保育園部) | 21. しみんふくし保育の家北野 |
| 7. ゆきはたこども園(幼稚園部) | 22. 家庭的保育(保育者の家庭等で預かる事業) |
| 8. ゆきはたこども園(保育園部) | 23. 事業所内保育施設 |
| 9. 三上こども園(幼稚園部) | (事業所名:) |
| 10. 三上こども園(保育園部) | 24. 認可外保育施設 |
| 11. 篠原こども園(幼稚園部) | (施設名:) |
| 12. 篠原こども園(保育園部) | 25. 居宅訪問型の保育(ベビーシッターなど) |
| 13. 野洲第三保育園 | (保育提供者:) |
| 14. 祇王明照保育園 | 26. ファミリー・サポート・センター |
| 15. あやめ保育所 | 27. その他() |

問11 施設・事業を選ぶ上で重視する条件について、3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|--|
| 1. 幼児期に必要な教育が適切に行われている | 7. 自己負担額、補助の有無等 |
| 2. 教育・保育の方針や特色が希望に合う | 8. 自宅からの距離が近いなどの立地条件 |
| 3. 教職員の質が高い | 9. 保護者が運営・行事に関わる機会が多い |
| 4. 園庭や遊具などの施設・設備、環境が充実している | 10. 保護者が運営・行事に関わる機会が少ない
(準備や参加の負担が軽い) |
| 5. 延長・夜間等の保育時間が希望に合う | 11. その他 |
| 6. 土曜・休日や長期休暇中の利用ができる | () |

問12 来年度以降、利用したい幼稚園・保育園などの施設・事業の場所についてお答えください。

(1つに○)

1. 野洲市内

2. 他の市町村

問13 あて名のお子さんの場合、家庭での保育を継続する、または家庭での保育に切り替える条件として必要と思われることは何ですか。(当てはまる番号すべてに○)

1. 家族の協力(配偶者・祖父母)
2. 子育てに対する勤務先の理解
3. 在宅で行える仕事
4. 急に必要になった場合の預け先
5. 病児・病後児の預かり
6. 施設ではなく訪問で提供される保育の充実
7. 地域住民による保育サービス
8. 地域や近所の理解
9. 公園、子育てひろばなど、子どもと過ごせる場所の充実
10. いざという時の相談先
11. 家庭での保育は考えられない
12. その他()

現在、幼稚園(部)を利用されている方に、恒常預かりについてうかがいます。

問14 幼稚園での恒常預かり保育(通常の就園時間を延長して預かるサービス)利用していますか。また、今後も利用希望はありますか。(1つに○)

1. 利用している。今後も利用したい。
2. 利用しているが、今後は利用するつもりはない。
3. 利用していないが、今後は利用したい。
4. 利用していない。今後も利用するつもりはない。

問10で、利用したいと考える施設・事業として「幼稚園(部)」(1～5、7、9、11)に○をつけ、かつ、保育園(部)など(7、9、11～25)にも○をつけた方にうかがいます。

問15 他の施設・事業よりも、幼稚園(幼稚園の恒常預かり保育や緊急預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(1つに○)

1. 希望する
2. 希望しない

5. 就学前のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の幼稚園・保育園の利用希望について

問16 土日、日曜・祝日に、幼稚園や保育園などの利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。それぞれ1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、これらの施設・事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1) 土曜日

※□内は(例)08時から20時のように24時間制で記入

1. 利用する必要はない	
2. ほぼ毎週利用したい	→ 利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで
3. 月に1~2回は利用したい	→ 利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで

(2) 日曜・祝日

※□内は(例)08時から20時のように24時間制で記入

1. 利用する必要はない	
2. ほぼ毎週利用したい	→ 利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで
3. 月に1~2回は利用したい	→ 利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで

幼稚園を利用されている方にうかがいます。

問17 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中に預かり保育などの保育サービスを利用したいですか。1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を□内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、これらの施設・事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※□内は(例)08時から20時のように24時間制で記入

1. 利用する必要はない	
2. 休みの期間中、毎日利用したい	→ 利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	→ 利用したい時間帯 □ □ 時から □ □ 時まで

7. 幼稚園・保育園などの不定期の利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問19 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間のおおよその利用日数も□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

この1年間で利用している事業	日数／年間
1. 一時預かり保育 (私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを預かる事業)	□ □ 日
2. ベビーシッター (保護者等の委託を受けて、居宅への訪問保育サービスを行う事業)	□ □ 日
3. ファミリー・サポート・センター (会員登録した地域住民同士の相互援助により一時的に子どもを預かる事業)	□ □ 日
4. 幼稚園(こども園の幼稚園部を含む)の緊急預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	□ □ 日
5. 夜間養護等事業:トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	□ □ 日
6. その他()	□ □ 日
7. 利用していない	

問20 あて名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

(1) 利用したい	合計 □ □ 日
1. 冠婚葬祭	□ □ 日
2. 保護者や家族の育児疲れ・不安	□ □ 日
3. 保護者や家族の病気	□ □ 日
4. その他()	□ □ 日
(2) 利用する必要はない	

問 21 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も数字でご記入ください。

	この1年間の対処法	泊数／年間
(1)あった	1. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	泊
	2. しみんふくし保育の家竹が丘の、泊り保育を利用した	泊
	3. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	泊
	4. 2.3. 以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	泊
	5. 仕方なく子どもを同行させた	泊
	6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊
	7. その他()	泊
(2) なかった		



※以下は、あて名のお子さんが来年(2024年)4月に小学校に入学する方(5歳児)を対象とした質問です。それ以外のお子さんは、問24へお進みください。

8. お子さんの放課後の過ごし方について

問22 あて名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1. 自宅 | 5. 学童保育所 ⇒ 問23へ |
| 2. 屋外(友だち等と遊ぶ) | 6. ファミリー・サポート・センター |
| 3. 祖父母宅や友人・知人宅 | 7. その他 |
| 4. 習い事
(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) | (コミュニティセンター、図書館、公園など) |

問22で「5.学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。それ以外の方は問24へお進みください。

問23「学童保育所」の利用希望をうかがいます。「ア. 通年保育(1)(2)」、「イ. 季節保育」それぞれについて、当てはまるもの1つに○をつけ、利用ができるとしたら利用したい時間も□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

用語の説明

「学童保育所」:こどもの家、放課後児童クラブとも呼ばれます。共働き家庭などの事情により昼間ご両親が不在の小学生のお子さんに対し、放課後に適切な遊びと生活の場を提供します。

(※野洲市においては、現在は日曜・祝日は開所していません)

「通年保育」:学童保育所へ、年間を通じてお子さんを入所させる利用形態。

「季節保育」:学童保育所へ、学校長期休業中(4月春休み・夏休み・冬休み・3月春休み)のみお子さんを入所させる利用形態。

(※野洲市においては、年度途中に通年保育と季節保育相互への変更はできません)

ア. 通年保育

※□内は(例)08時から20時のように24時間制で記入

(1)月曜～土曜日の利用について

1. 小学校1年生の間は利用したい
2. 小学校2年生まで利用したい
3. 小学校3年生まで利用したい
4. 小学校4年生まで利用したい
5. 小学校5年生まで利用したい
6. 小学校6年生まで利用したい

→利用したい時間帯(月曜～金曜)

放課後から □ □ 時まで

→利用したい時間帯(土曜)

□ □ 時から □ □ 時まで

(2)日曜・祝日の利用について

(日曜・祝日が開所された場合)

1. 小学校1年生の間は利用したい
2. 小学校2年生まで利用したい
3. 小学校3年生まで利用したい
4. 小学校4年生まで利用したい
5. 小学校5年生まで利用したい
6. 小学校6年生まで利用したい
7. 利用する必要はない

→利用したい時間帯

時から 時まで

イ. 季節保育

1. 小学校1年生の間は利用したい
2. 小学校2年生まで利用したい
3. 小学校3年生まで利用したい
4. 小学校4年生まで利用したい
5. 小学校5年生まで利用したい
6. 小学校6年生まで利用したい
7. 利用する必要はない

→利用したい時間帯

時から 時まで

9. 子育て環境について

問24 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(当てはまるものすべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問 25 妊娠期から出産期に対しての支援として、どのようなことを望みますか。

(当てはまるものすべてに○)

1. 妊娠中に気軽に健康相談できる窓口があること
2. 妊娠中の健康管理に関する情報提供が得られること
3. 妊婦同士の交流機会があること
4. 親となる心がまえや子どもとの関わり方などに関する学習機会があること
5. 経済的支援の充実
6. 特に望むことはない
7. その他

問 26 あて名のお子さんの現在の子育て支援センターの利用状況について、以下の選択肢から利用している子育て支援センターすべてに○をつけ、おおよその利用日数(頻度)を□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

用語の説明

「子育て支援センター」: 育児相談や、子育てに関する情報発信を行う施設で、未就園児を対象に、親子で自由に遊べる場所・玩具などの提供、親子のレクリエーション・イベント等の開催を行っています。

1. 野洲市子育て支援センター(健康福祉センター内)

1週当たり □ 日 もしくは 1か月当たり □ □ 日 程度

2. きたの子育て支援センター

1週当たり □ 日 もしくは 1か月当たり □ □ 日 程度

3. あやめ子育て支援センター

1週当たり □ 日 もしくは 1か月当たり □ □ 日 程度

4. その他の民間団体・施設が実施している事業など

(具体名:)

1週当たり □ 日 もしくは 1か月当たり □ □ 日 程度

5. 利用していない

問27 問26のような子育て支援センターを、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用日数(頻度)を□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

1. 利用していないが、今後利用したい 1週当たり 日 もしくは 1か月当たり 日 程度
2. すでに利用しているが利用日数を増やしたい 1週当たり 日 もしくは 1か月当たり 日 程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問28 下記の事業等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。あて名のお子さんに限らず、ご家庭のすべてのお子さんに関してお答えください。(①～⑩の各事業等について、A～Cそれぞれに○は1つずつ)

事業等	A 知っている	B 利用(参加)したことがある	C 今後利用(参加)したい
① 子育て支援コンシェルジュ(利用者支援事業) (子育て支援センターで、地域の子育て支援情報の提供や相談・助言等を行っている事業です。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
② 妊婦健康診査 (妊娠の経過や赤ちゃんの発育状況を確認するための健診です。野洲市健康福祉センターで母子健康手帳と同時に助成券を交付しています。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
③ 保育園、こども園、幼稚園や小学校などで実施される家庭教育に関する講演会やセミナー	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
④ 図書館のえほん・おはなしの会	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑤ コミュニティセンターの活動・教室 (各学区のコミュニティセンターにおいて、様々な体験活動や年齢層の方との交流活動などを行う事業です。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑥ 保育園、こども園、幼稚園の園庭開放 (市内の保育園・こども園・幼稚園では、未就園のお子さんと保護者が屋外遊びを体験できるように、園庭を開放しています。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑦ 学校施設の開放 (子どもをはじめ市民の心身の健全な発達を図るため、市内小・中学校の運動場や体育館等を登録団体に開放しています。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑧ スクールガードリーダーや警察を交えた防犯教室 (保育園、こども園、幼稚園や小学校において、子どもの防犯意識の向上や被害防止対策などを図る教室です。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑨ 子どもSOSホーム (子どもが外で危険な目にあった時に助けを求めることができる家として、行政・学校園(所)・保護者・地域とで連携協力して設置しているものです。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

事業等	A 知っている	B 利用(参加)したことがある	C 今後利用(参加)したい
⑩ 保育園、こども園、幼稚園や小学校での環境活動 (園や学校、PTA等で行う廃品回収やリサイクル活動の他、環境に関する学習会などを行う活動です。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑪ 野洲市ふれあい教育相談センター (不登校やいじめなどの問題を抱えている児童生徒やその保護者に対してカウンセラーによる電話相談や面接相談を行ったり、学校に行きにくい、行けない小中学生のために教室を設けたり、就学前の子どもやその保護者に対して、ことばについての指導や相談を行っている市の施設です。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑫ 野洲市家庭児童相談室 (18歳未満の子どもに関する相談や、児童虐待、DVに関する相談などをお受けしています。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑬ 野洲市発達支援センター (乳幼児期から成人期までの心身の発達に支援を必要とする人に対し、その発達状況に応じ、専門的な相談や療育等を行う市の施設です。)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

問28-1 上記の事業についてのご意見や、他にも取り組んでほしい事業があれば、下欄にご記入下さい。



問 29 子育てに関して日頃悩んでいること、また不安や負担、気になることはどのようなことですか。

(当てはまるものすべてに○)

1. 子どもの育て方、接し方がわからない
2. 家族の協力が得られない
3. 仕事と子育ての両立が難しい
4. 出産・育児にお金がかかりすぎる
5. 不安や悩みを相談する相手がいない
6. 子育ての大変さを、周囲の人にわかってもらえない
7. 保育サービスが十分でない
8. 小さな子どもにとって、安全な遊び場が少ない
9. 子どもが病気の時、預かってくれるところがない
10. 子どもを通じてのつきあいがわずらわしい
11. 子育ての仲間がいない
12. 子育てによる心身の疲れを感じる
13. 子どもが思うようにならないとき、イライラする
14. 子育てに追われ、社会から孤立しているように感じる
15. 同じ年齢の子どもと比較すると発育・発達状況が心配
16. 自分の時間が取れず、自由がない
17. 小学校に進学するにあたって集団生活や授業に対応できるかどうか不安
18. 特にない
19. その他()



問 30 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1 つに○)

1. とてもゆとりがある
2. ややゆとりがある
3. ふつう
4. やや苦しい
5. とても苦しい

問 31 子育てに関する悩みをどのような人・機関に相談していますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| 1. 配偶者 | 9. 民生委員・児童委員 |
| 2. 祖父母等の親族 | 10. 医療機関・かかりつけ医 |
| 3. 友人(子育て中の仲間など)や知人 | 11. 市の各機関
(市役所、健康福祉センター等) |
| 4. 近所の人 | 12. その他() |
| 5. 子育て支援センター | 13. 相談すべきことはない |
| 6. 保育園(こども園の保育園部含む) | 14. 相談すべき人がいない |
| 7. 幼稚園(こども園の幼稚園部含む) | |
| 8. 小学校 | |

問32 子育てに関する情報の入手先としてよく利用するものはどれですか。

(当てはまるものすべてに○)

1. 広報やす
2. 市ホームページ
3. 野洲市子育てガイドブック
4. 子育て支援センターが発行する情報誌(「にこにこだより」など)
5. 幼稚園(こども園の幼稚園部含む)、保育園(こども園の保育園部含む)、小学校などからの情報(おたよりやメール配信など)
6. 新聞、テレビ、ラジオ
7. 子育て雑誌、育児書
8. 市ホームページ以外の子育て関連のホームページ
9. 子育てサークル・子育て支援サークル
10. コミュニティ情報誌(フリーペーパー等)
11. その他()
12. 情報の入手先がない／わからない

問33 幼稚園や保育園などの施設・事業にどのようなことを望みますか。

(当てはまるものすべてに○)

1. 一人ひとりの個性に応じた保育を行うこと
2. 集団で行動できるようになること
3. 友だちとのびのびと遊ぶこと
4. 自然や社会などの多様な体験をすること
5. 異年齢の子どもやいろいろな人とかかわること
6. 文字や数などに興味・関心を持たせること
7. 絵や音楽、運動などに親しみ、上手になること
8. しつけや生活習慣を身につけること
9. 保護者同士が交流すること
10. 保護者が子育てについて情報交換・相談できること
11. その他()
12. 特に希望はない

問34 野洲市は、子育てをしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

- 1. そう思う
- 2. どちらかというと思う
- 3. どちらかというと思わない
- 4. そうは思わない
- 5. わからない

問35へ

問36へ

問34で、「1.」「2.」に○をされた方にうかがいます。

問35 野洲市のどのようなところが、子育てをしやすいと感じますか。(当てはまるものすべてに○)

- 1. 広報誌やホームページの子育て情報の内容がいい
- 2. 子育て支援センターが充実している
- 3. 子育てボランティアが助けてくれる
- 4. 就学前児童への保育が充実している
- 5. 体調の悪い子どもを預けられる施設がある
- 6. 障がいのある子どもとその家庭への支援が充実している
- 7. 子育ての悩みを相談できる機関がある
- 8. 不登校やいじめについて相談できる機関がある
- 9. 学童保育が充実している
- 10. 育児休業制度や再雇用制度などにより、育児をしながら働きやすい環境である
- 11. 医療費助成制度が充実している
- 12. 遊び場が充実している
- 13. 子どもの安全への十分な配慮がある
- 14. その他()

問34で、「3.」「4.」に○をされた方にうかがいます。

問36 野洲市のどのようなところが、子育てをしにくいと感じますか。(当てはまるものすべてに○)

- 1. 子育て情報が少ない
- 2. 子育て支援センターが充実していない
- 3. 子育てボランティアなど、子育てを支援してくれる人がいない
- 4. 就学前児童への保育が充実していない
- 5. 幼稚園・保育園(所)が預かってくれる時間が短い
- 6. 体調の悪い子どもを預けられる施設がない
- 7. 障がいのある子どもとその家庭への支援が充実していない
- 8. 子育ての悩みを相談できる機関がない
- 9. 不登校やいじめについて相談できる機関がない
- 10. 学童保育が充実していない
- 11. 育児をしながら働ける環境ではない
- 12. 医療費助成制度が充実していない
- 13. 遊び場が充実していない
- 14. 子どもの安全への十分な配慮がない
- 15. その他()

問37 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。(□ 内に数字でご記入ください)

人

問37で現在のお子さんの数よりも多い人数を答えた方にうかがいます。

問37-1 理想的な子どもの数は実現できると思いますか。(1つに○)

また実現できない場合、その理由は何ですか。(ア～チの当てはまるものすべてに○)

1. 実現できると思う
2. 実現できないと思う

【実現できない理由】

- ア. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
- イ. 保育サービスが整っていないから
- ウ. 雇用が安定しないから
- エ. 働きながら子育てができる職場環境がないから
- オ. 自分の昇進・昇格に差し支えるから
- カ. 家が狭いから
- キ. 子どもがのびのび育つ社会環境でないから
- ク. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
- ケ. 自分または配偶者が高年齢で、生むのが困難だから
- コ. これ以上、自分または配偶者が育児の心理的、肉体的負担を負えないから
- サ. 妊娠・出産のときの身体的・精神的な苦痛を伴うから
- シ. 健康上の理由から
- ス. ほしいけれども妊娠しないから
- セ. 配偶者や親族の家事・育児への協力が得られないから
- ソ. 配偶者が望まないから
- タ. その他()
- チ. 特になし

問38 野洲市の子育て支援に対するご意見やご提案等がありましたら、お書き下さい。

☆調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の返信用封筒に入れ、●月●日(●)までに投函をお願い致します。



野洲市観光PRキャラクタードウタクくん